

相馬
ゆうこの

南千住レポート

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3 区役所内5階 ☎3802-4627

FAX:3806-9246 / 〆: arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階 ☎・FAX: 3807-4192

・HP→jcp-arakawakugidan.jp
 ・X(旧Twitter)→@m1010yuko
 ・araken-nan.jugem.jp

投票日は27日

あなたが主役、投票に行こう!!



15日から始まった衆議院選挙は、いよいよ27日(日)が投票日。裏金・脱税政治から、私たちの人権とくらしを守るまともな政治に切り替えるチャンスです。みなさんぜひ投票に足をお運びください。お騒がせですが、ご協力よろしくお願いします。

20日(日)から南千住駅前ふれあい館や総合スポーツセンターなど計7か所、期日前投票も始まっています。投票日当日にお仕事や外出の予定がある方はぜひご

利用下さい。

16~19日 20(日) 21(月) 22日(火) 計

区役所	1,459	617	497	557	3,130
南千住駅前ふれあい館	—	588	467	500	1,555
スポーツセンター	—	466	267	324	1,057
町屋文化センター	—	911	620	740	2,271
シルバー人材センター	—	474	290	331	1,095
あらかわ遊園スポーツハウス	—	707	319	425	1,451
ふらっとにっぽり	—	705	401	467	1,573
計	1,459	4,468	2,861	3,344	10,673
前回	2,014	4,753	2,938	2,969	12,674

火曜日までの期日前投票状況はこんな感じです。先週はお天気の影響もあるでしょうが、どこの投票所も前回よりやや少なく、特に日暮里で少なめに。その分、



投票日当日に足を運ぶ方がふえるといいのですが…。今週土日は「曇り時々晴れ」の予報です。

解散～投票
まで18日間

今回の衆議院選挙は10月9日解散・27日投票で、解散から投票日まで18日間と過去最短だった前回の「17日間」に次ぐ短さとなりました。選挙管理委員会も大

	前回	今回
解散	10/14	10/9
公示	10/19	10/15
投票日	10/31	10/27
解散～投票日	17日間 ※過去最短	18日間
投票所整理券の発送 (投票日までの日数)	18~19日 (13日)	16~18日 (9日)
選挙公報配布 (投票日までの日数)	25~28日 (6日)	21日~ (6日)

変です。「投票券がなかなかこない」と心配の声もありましたが、投票整理券は16~18日の3日間で郵送、選挙公報が届いたのは21日以降でした。

選挙公報

届いてますか 選挙公報は、公示日の立候補受付の際に候補者が原稿を提出、受付締切後に掲載順を決めるくじを行ってから印刷し、配布までに6日程度かかります。

公職選挙法で「投票日の2

日前までに配布する」と決められていますが、現在は約3割が期日前投票で、実態と合っていない現状もあります。

かわいい

7月の都知事選挙の際に荒川区の「投票済証」がかわい「投票済証」いい、と話題になりましたが、今回もなかなかすてきなデザインです。毛糸で編んだような模様で、本のしおりとしても活用できるそう。投票済証は投票後に係員に申し出ないともらえないため、都知事選では5千枚程度が余ることに。小中学校の模擬投票や選挙啓発イベントの際に活用しているそうですが、せっかくすてきなので余ってはもったいない。みなさん、ぜひ投票に行き入手してみてください。

こんな感じの
デザインです

前回投票率は区内56.3%～国民の声を反映する制度に

前回2021年の衆議院選挙の投票率は全国平均55.9%、区内は56.3%でした。過去最低だった2014年（52.66%）から再び上昇傾向ですが、それでも選挙に行く人は国民の約半数にとどまっています。

政治と金の問題が繰り返され、「どうせ変わらない」と政治不信が高まり、さらに小選挙区制度が有権者の一票の重さを感じにくくさせています。

1選挙区で1人しか当選せず多くの死票を生む

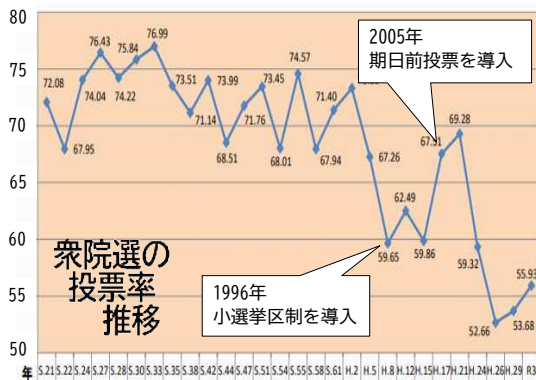
「小選挙区制」ではなく、

得票数に応じて議席が正確に

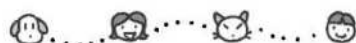
配分される「比例代表

を中心とした制度」に、日本共産党は選挙制度を切り替えることを提

案しています。国民の声がきちんと反映される制度にしたい。



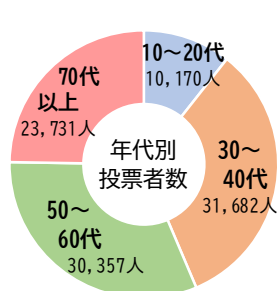
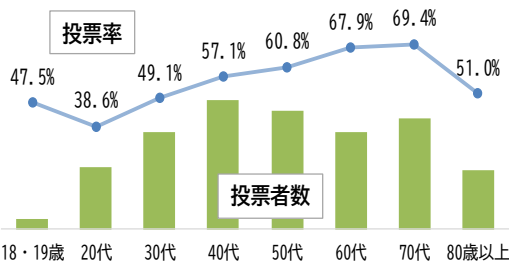
「日本の政治は高齢者優先」って本当？



「高齢者の方が投票率が高いから、日本の政治は高齢者優先になっているのでは」という、世代間の分断をおおるような意見がテレビやインターネットで散見されます。本当でしょうか？

前回の衆院選の区内投票率を年代別に見てみると…もっとも高いのは「70代」69.4%で、「60代」67.9%、「50代」60.8%と続きます。「80歳以上」は移動が大変、施設入所などで投票率は51%にとどまっています。一方で実際の投票者数は「40代」がもっとも多く、「50代」「70代」と続き、「30代」と「60代」はほぼ同数です（右表）。

★前回(2021年)衆院選では…



庶民のくらし さらに20
支える政治に 歳ごとでは

「30～40代」がもっとも多く、次いで「50～60代」「70代以上」で（左表）、投票者が高齢者に偏っているという事実はありません。

いまの政治は大企業や財界、アメリカの意向で動かされています。超低金利政策と円安で一部の富裕層は儲けても、輸入頼みの食料・エネルギー価格は値上がりで、若い人も高齢者も庶民のくらしは深刻。みんなで力をあわせて、くらしを支える政治にしたい。

〈法律・生活相談〉 11月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談など、随時ご連絡ください。

事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後12時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前・電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

【受付】相馬 ゆうこ事務所

南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192



ご意見・ご質問頂きました

○「若い人の投票率が上がらないのは何故？」…これまでの管理教育で常に「正解」を求められてきた結果では、と感じます。選挙の投票も間違っただけでいい、正しい答えを選ばなければという無意識のプレッシャーと、日々の忙しさで答えを見つけないのが面倒、調べる時間もなくて、結局、棄権してしまう…そんな悪循環になっていませんか？

あなたが主役です。「選挙も人生もいつでもやり直せる」という気持ちでどうぞ。もっとゆとりのある社会こそ、人間も経済も成長できるのだと言いたい。

